

**ひょうご環境体験館の管理運営に関する評価【平成 23～27 年度】**  
(平成 27 年 10 月 13 日(火)ひょうご環境体験館指定管理者候補者選定委員会)

**1 施設維持管理業務**

- ・ 清掃、設備の保守管理、警備等については、事業計画に基づき概ね適正に実施されている。
- ・ 平成 26 年度の来館者アンケートによれば、施設全体の満足度について、「大変満足 54%」、「やや満足 27%」と高い評価を得ている。平成 23、24、25 年度のアンケートにおいても約 8 割の来館者に満足であるとの評価を得ている。
- ・ 小規模修繕については、県との分担により対応しており、安定した設備維持を行っている。

**2 運営業務**

- ・ 施設利用団体のニーズに応じた環境学習プログラムを実施しており、平成 26 年度の来館者アンケートではプログラムへの満足度が 74%と概ね高い評価を得ている。

**3 利用状況**

- ・ 西播磨地域を中心に積極的な広報活動を展開し、利用者数は平成 24 年度以降、年々増加しており、平成 26 年度の利用者数は 31,212 人と年間目標を上回り、過去最高となった。
- ・ さらなる利用者の増加を図るため、引き続き利用促進に向けた取組みが必要である。

**4 収支状況**

- ・ 全般的な経費の節減を図り、全体収支は概ね計画どおりとなっている。

**5 運営体制**

- ・ 職員・スタッフの対応について、毎年、利用者から満足との評価を得ており、平成 26 年度の来館者アンケートでは、「大変満足 60%」、「やや満足 22%」と高い評価を得ている。
- ・ ボランティア（エコハウスサポーター）を効率的、計画的に配置し、利用者の利便性を図っている。

**6 総評**

- ・ 来館者アンケートの評価も高く、維持管理状況、運営状況ともに良好であり、事業計画に基づいた適切な管理運営が実施されたと認められる。
- ・ 今後もアンケート等を実施し、より一層利用者の声を反映させた施設の管理運営を期待したい。

(参考)

**ひょうご環境体験館指定管理者候補者選定委員会**

氏名	役職等	備考
野邑 奉弘	大阪市立大学名誉教授	委員長
青野 克美	姫路科学館長	
岩木 啓子	ライフデザイン研究所 FLAP代表	
宇田名保美	中小企業診断士	
濱西 喜生	農政環境部環境創造局長	